

## 令和4年度 評議員等資格審査委員会 活動報告

### 令和4年度 評議員等資格審査委員会下期活動報告 (2022年10月1日～2023年3月31日)

担当理事：井上 健（～令和4年11月）、藤 浩（令和4年11月～）

副担当理事：多賀 崇

委員長：中沢洋三 副委員長：中山秀樹

委員：大喜多肇、新開統子、高安肇、照井君典、土居岳彦、木下義晶（～令和4年11月）、  
中岡達雄（令和4年11月～）（敬称略）

日本小児血液・がん学会の評議員等について、その資格の公正かつ適切な審査を行うことを目的として活動する。

会議：必要に応じてメール等で審議を行う

#### 活動内容

- 1) 令和4年度の評議員資格更新の対象となった評議員4名のうち、1名の更新辞退者を除く3名について、改訂施行細則第2条に基づいて更新の可否を審議した。その結果、3名全員の資格更新を適格と判定し、理事会で承認された。

#### （評議員の資格更新）

第2条 2期を越えて評議員の再任を希望するものは、次の各項に定められた条件をすべて備えてなければならない。

- 1) 評議員任期2期4年間で、2回以上本学会の学術集会に出席していること
- 2) 評議員任期2期4年間で、2回以上本学会の学術集会で発表していること（共同演者可）

2. 前項の条件を満たすことができないものが2期を越えて評議員の再任を希望する場合は、次の1) 2) または1) 3) または1) 4) のいずれかの条件をすべて備えてなければならない。

1) 評議員任期2期4年間で、2回以上本学会の学術集会に出席していること、または、1回の本学会の学術集会への出席と1回以上の別に定める関連学会の学術集会に出席していること

2) 評議員任期2期4年間で、1回の本学会の学術集会での発表と1回以上の別に定める関連学会の学術集会での小児血液・がん領域についての発表をしていること（共同演者可）

3) 評議員任期2期4年間で、2回以上別に定める関連学会の学術集会で小児血液・がん領域についての発表をしていること（共同演者可）

4) 評議員任期2期4年間で、本学会への顕著な貢献が認められるもの

3. 前項の条件で評議員の再任を希望するものの適格性と妥当性の審査は評議員等資格審査委員会が行い、理事会の承認を受けなければならない。

#### 「別に定める関連学会の学術集会」

1. 放射線： 日本医学放射線学会、日本放射線腫瘍学会
2. 脳神経外科： 日本脳腫瘍学会、日本小児神経外科学会
3. 病理： 日本病理学会、日本臨床細胞学会
4. 上記以外の臨床系： 骨軟部腫瘍学術集会、日本サルコーマ治療研究学会
5. 基礎医学： 日本癌学会、SIOP
6. 看護・医療・支援： 日本小児がん看護学会、日本小児保健協会